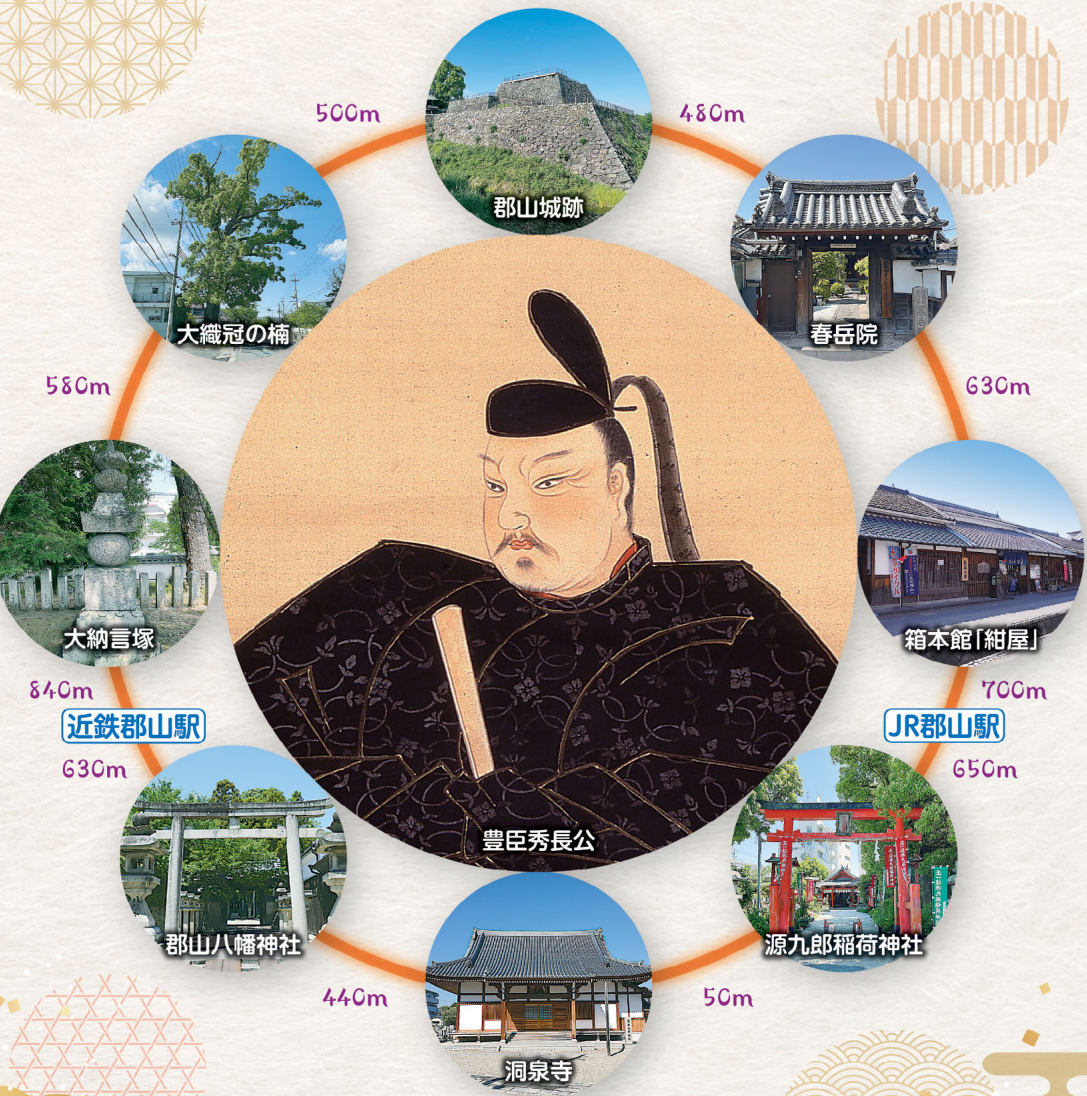


秀長さん まるっとマップ



一般社団法人 大和郡山市観光協会



1 郡山城跡

郡山城跡は、安土桃山時代の野面積み石垣が良好な状態で残る全国でも貴重な城跡で、石垣に寺院の礎石・石仏など多数の転用石材が使われているのが特徴です。天守台からは、奈良盆地を360度見渡せる素晴らしい眺望を楽しめます。また、日本さくら名所100選に選ばれており、毎年春の「お城まつり」には多くの花見客と屋台で賑わいます。



4 源九郎稻荷神社

歌舞伎・文楽の「義経千本桜」に登場する「源九郎狐」を祀る神社です。秀長と親交のあった長安寺村の僧宝誓の夢枕に白狐が老翁の姿となって現れて郡山城の守護神となることを告げ、宝誓からそれを聞いた秀長が鎮守として城内に祀ったと伝えられます。その後、江戸時代中頃の享保4年(1719)に現在の洞泉寺町に遷座しました。

時 10時～17時 料 境内拝観自由



土鈴



2 春岳院

城下町にある豊臣秀長の菩提寺です。当初の菩提寺である大光院が京都に移された後、郡山において位牌と墓所(大納言塚)の管理を託されました。秀長が策定した郡山城下の商工業者特権(箱本制度)は、江戸時代も引き継がれたため、春岳院は町人から篤い信仰を集めました。秀長の肖像画や箱本制度史料も伝わります。

時 9時～16時 料 境内拝観自由、本堂拝観は要予約で志納
電 0743-53-3033



大和納言御朱印



5 洞泉寺

天正9年(1581)僧宝誓によって長安寺村(現大和郡山市長安寺町)に建立された寺で、天正13年(1585)秀長によって城下町東南の現在の場所に移されました。御本尊は鎌倉時代の快慶作と伝わる阿弥陀三尊立像です。境内には光明皇后が民衆の病氣平癒のために作らせたと伝わる「垢かき湯船」と「垢かき地藏」があります。

時 10時～16時 料 境内拝観自由、本堂拝観は要予約で300円
電 0743-52-2893

垢かき湯船と垢かき地藏



3 箱本館「紺屋」

秀長の特許状(独占営業権)によって奈良盆地の藍染は江戸時代を通して大和郡山の紺屋町でしか営業できませんでした。箱本館「紺屋」は、江戸時代中期に作られた藍染商の町家を再生した観光施設で、館内には、「箱本十三町」関連資料、金魚ゆかりの美術工芸品「金魚コレクション」、セルフカフェ、藍染ショップ、藍染体験工房などがあります。

時 9時～17時 料 無料
休 月曜(祝日の場合は翌平日)・祝日の翌平日・年末年始

御朱印箱と藍染グッズ

秀長さん まるっとマップ

発行:一般社団法人 大和郡山市観光協会 TEL:0743-52-2010
発行日:令和6年(2024)7月31日 掲載情報は令和6年7月現在のものです。

秀長さん まるっとマップ

説明

近鉄郡山駅またはJR郡山駅を出発地とし、秀長さんゆかりの8つの場所を徒歩で巡る1周約6kmのルートです。QRコードをスマホで読み込むと、現在位置や食事・おみやげ情報を見ることができます。

スマホのGPSで現在位置を確認



※GPSが更新されない時は、ページを再読み込みして10秒程度お待ちください。

秀長さんの城下町をまるっと体験マップ

はこもとじゅうさんまち

箱本十三町とは

秀長は、城下の東南に有力な商工業者を集め、地子(土地にかかる税金)を免除し、自治権や独占営業権を与えて、強力な城下町振興を行いました。これらの町は、「箱本十三町」と呼ばれ、江戸時代の郡山藩主にも受け継がれました。



朱色の場所が箱本十三町のまち

スマホで食事・おみやげ情報を表示



8 大織冠の楠

豊臣政権期の天正16年(1588)から天正18年(1590)まで、大織冠 藤原鎌足を祀る多武峰(現在の談山神社)は郡山城の鎮守として、この楠のある丘陵に遷座していました。樹齢500年以上と推定される楠は、秀長さんの姿を見ていたのかもしれない。
※郡山多武峰の正確な場所は現在わかりません



7 大納言塚

天正19年(1591)、郡山城内で没した秀長はここに葬られ、兄秀吉が近くに建立した菩提寺の大光院が墓所を管理し菩提を弔っていました。大坂夏の陣により豊臣家が滅ぶと、秀長の家臣だった藤堂高虎は大光院が荒蕪することを懸念して寺を京都に移し、秀長の位牌は城下町の春岳院に託されました。
時料 境内拝観自由



6 郡山八幡神社

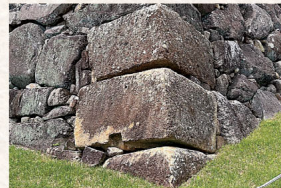
郡山城築城以前から存在する当地の鎮守社で、天正13年(1585)から始まる秀長築城のため郡山城跡のある丘陵地から遷座し、柳町の町作り完成により現在の柳四丁目へ移ったと伝えられます。本殿奥には郡山城外堀の土塁が現在も残っています。また、近年は野球少年が必勝祈願に訪れる「クラブ神社」としても有名です。
時 6時~18時 料 境内拝観自由

史跡 郡山城跡

郡山城は、地元の戦国大名筒井順慶の築城に始まり、天正13年(1585)9月、紀伊国、和泉国、大和国合わせて百万石以上の領主として入部した豊臣秀長によって、荒々しい野面積み石垣を持つ大和国最大の城郭が作られました。(令和4年国史跡指定)



8 逆さ地蔵



7 伝羅城門礎石

郡山城の石垣には、非常に多くの「転用石材」が使用されており、天守台の北東裾には、有名な「伝羅城門礎石」と「逆さ地蔵」があります。



1 追手門

昭和58年(1983)から昭和62年(1987)に、大和郡山市民の寄付等により追手門、追手東隅櫓、追手向櫓が、秀長築城時に近い形で再建されました。春の盆梅展やお城まつりの期間中は中に入ることができます。



2 城址会館

明治41年(1908)奈良公園内に建てられた奈良県最初の県立図書館で、昭和43年(1968)現在地に移築されました。

時 土・日・祝の10時～16時 1階ホールを開設 料 無料



6 天守台

郡山城の天守は、近年まで「幻の天守」とも言われてきましたが、平成26年(2014)の発掘調査で礎石が確認され、豊臣政権には四層から五層の天守があったと考えられています。

時 夏季:7時～19時(4月～9月) 冬季:7時～17時(10月～3月)
料 無料



5 柳澤神社

享保9年(1724)柳澤吉里が郡山に入部し、以降明治維新まで柳澤家の安定した統治が行われました。柳澤神社では、吉里の父 柳澤吉保(徳川綱吉側用人)をお祀りしています。

時 夏季:7時～19時(4月～9月) 冬季:7時～17時(10月～3月)
社務所:9時～16時 料 境内拝観自由



4 極楽橋

本丸を守る内堀に掛けられた橋で、本丸へ登城する正式なルートとして重視されてきました。明治初期の廃城令により失われていましたが、令和3年(2021)再建されました。

時 夏季:7時～19時(4月～9月) 冬季:7時～17時(10月～3月)
料 無料



3 柳沢文庫

江戸時代中期から郡山藩主を勤めた柳澤家歴代当主の書画・和歌や古文書を所蔵し、郡山城や柳澤家ゆかりの展覧会を開催しています。郡山城の御城印は、ここで購入できます。

時 9時～17時 料 一般300円 休 毎週月曜・第4火曜・臨時休有